

平成 24 年 5 月 6 日に栃木県真岡市付近で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

5月6日13時頃、栃木県真岡市西田井付近で突風が発生し、大きな被害が発生しました。
このため本日(7日)、宇都宮地方気象台は、突風現象の調査のため職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。
結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性が高いと判断しました。

(根拠)

- ・被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・被害地付近で、移動する渦を見たという証言や竜巻を見たという証言があった。
- ・被害や痕跡から推定した風向に収束性がみられた。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは、藤田スケールでF1と推定しています。

(根拠)

- ・複数の住家において屋根瓦の飛散があった。
- ・複数の住家で窓ガラスの割れる被害があった。

なお、突風の強さについては、今後の調査によっては現在の推定値(F1)よりも強くなる可能性もあります。

また、栃木県益子町と茂木町でも突風により、被害が発生しています。

このため、明日(8日)も引き続き現地調査を実施し、調査結果を公表します。